

消防だより

7月の広報テーマ

「花火による火災の防止」

119



花火による火災の防止

夏になり、家庭でも子供たちが花火を楽しむ季節となってきましたが、花火を楽しむためにも正しく取り扱わないと火災になったり、火傷をしたりと事故につながります。

1. 風の強い日などは花火をしない
2. 子供だけでは花火をしない
3. 注意書を必ず読む
4. 花火をほぐしたり、数本束ねて点火したりしない
5. 水の入ったバケツなどを用意する

住民自らによる

災害への備え

突然災害に襲われたら、あなたは最初に何をしますか。

頭では理解していても、実際にはパニックになり、的確な行動がとれなかったなど、よく耳にします。



- ◎ 落ち着いて行動するための次のことを頭に入れておきましょう。
- ◎ まず、わが身の安全を
- ◎ すばやく火の始末
- ◎ 戸を開けて出口を確保



統一標語

「消さないで

あなたの心の

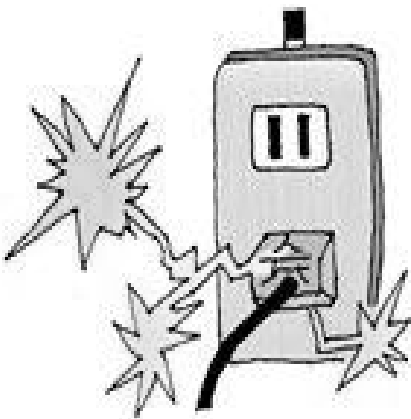
注意火」

電気配線等からの

出火防止

現在の生活のなかでは電化製品やOA機器など、数多くの電気器具を使用するようになりました。

このため、使用する電気製品に対しコンセントが不足し、「たこ足配線」になりがちです。コンセントの電気の許容量を超えて電気器具を使用すると、コンセントやコードが過



fire

5月の

● 火災件数	0 件
● 救急件数	34 件

熱し、火災になることもありま
す。コンセントの許容量にあつ
た機器の配線を行い、「たこ足
配線」は絶対にやめましょう。
また、プラグを長い間差し込
んだ状態で湿気やホコリが付い
たままにしておくとうプラグの両
刀間に電流が流れ、発熱して火
災になる「トラッキング現象」と
なることがありますので、外出
時や就寝時には使用したい器具
のプラグを抜いたり、プラグの
ホコリなどをこまめにとりまし
よう。